



船引小学校だより

No. 11

発行日 令和7年3月14日(金) 発行責任者 田村市立船引小学校長 佐久間敏晴



【校訓】

思いやりのある子ども ~ やさしく ~
よく考えてしっかり学ぶ子ども ~ かしこく ~
進んでからだをきたえる子ども ~ たくましく ~



授業参観、教育講演会、PTA総会、学年・学級懇談会



2月21日(金)に今年度最後の授業参観を実施しました。今回もたくさんの保護者の方にお越しいただき、子どもたちの活動の様子を参観していただくことができました。子どもたちはご家族に見ていただけの事をとても楽しみにしており、発表に向けて張り切って準備をしてきました。当日は工夫を凝らした発表はもちろんのこと、それまでの頑張りの様子をもご覧いただけたのではないかと存じます。その後、現役弁護士の小川尚史先生に講師としてお越しいただき、6年生児童と保護者を対象とした教育講演会を行いました。勉強の意義、目標達成の方法等、先生のご経験を交えたお話をいただきました。そして、PTA総会がそのまま体育館で行われました。本年度の事業報告・決算報告、次年度の事業計画案・予算案、児童活動後援会規約等について審議し、承認されました。また、本部役員も決まり、次年度に向けての体制が整いました。引き続き、PTAの皆様の力をお借りして、学校の教育活動を推進していきたいと思っております。



さらに、学年・学級懇談会が行われ、子どもたちの成長の様子や今後の予定、春休みの過ごし方などについて、各担任よりの説明し、その後全体協議等がありました。保護者の皆様、お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。

学校運営協議会

2月26日(火)に今年度最後の学校運営協議会が開催されました。後期の学校運営や教職員による自己評価、アンケートによる保護者・児童の評価の結果について説明し、各委員の方よりご意見を頂戴しました。開示資料を基に委員の方々にも学校評価をしていただきました。その結果につきましては、後日、ホームページ等に掲載しますのでご確認いただきたいと存じます。さらに、令和7年度の本校の教育全体計画である「教育課程」や「学校経営・運営ビジョン」について承認をしていただきました。「教育課程」については、後日、教育委員会に「各教科等の指導計画」を付して提出し、この計画に基づいて令和7年度の教育活動を推進していきます。

お知らせ

本校のホームページで子どもたちの活動の様子をお知らせしています。日々更新しておりますので、是非ご覧ください。

3/14 現在アクセス数 4121582

船引小学校

検索

『発達障害』と間違われる子どもたち 成田奈緒子 著 (青春新書)

第3号と第4号に掲載させていただきましたが、また本の一部を紹介させていただきます。(太字は原文のまま)

<子育ての核は「ありがとう」「ごめんなさい」にある>

家庭で子どもの自己肯定感を高める方法をもう1つ、ご紹介しましょう。

それは、(中略)家の中で子どもの役割をつくることです。洗濯、物を畳む、玄関掃除、ゴミ出し、アイロン……何でも構いません。

もし、子どもがしっかりと自分の役割を果たしてくれたら、あなたならなんて声をかけますか? 「ありがとう」と感謝を伝える方が多いのではないのでしょうか。

身近な人に「ありがとう」と言われると、それだけで自己肯定感は増します。**子どもにありがとうと言われる経験をたくさんさせてください。**子どもが家での役割にはそのような意味もあるのです。

(中略)

子どもに役割を与え、その子がいなくて生活が回らなくなるような環境をつくると、必然的に親は子どもにありがとうと言えます。**この役割と人からもらう感謝が、子どもの自己肯定感を底上げしていきます。**

(中略)

また、「ありがとう」「ごめんなさい」このやりとりは、社会におけるコミュニケーションの基礎です。これができない人や取引先は、新たな関係を築きたいとは思えませんよね。

人と人との間の信頼に関わる大事な言葉であり、社会で生きる上で欠かせない言葉だといえるでしょう。

家族という人間関係の中で、親が「ごめんなさい」としかるべきに言うことで、子どもに「ごめんなさい」を使ったコミュニケーションも教えていきましょう。

(中略)

子育てで大事なことは、コミュニケーションを用いて社会の中で生きていくすべ、必要なものを手に入れる方法を子どもに教えることです。その核となるのが、「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉なのです。